No.132
北本市

議会だより

令和7年（2025年）5月1日発行
編集／議会広報広聴委員会
発行／北本市議会（北本市本町1－111）
Tel 048-591-1111　Fax 048-591-6335
URL https://www.city.kitamoto.lg.jp/shigikai/index.html

令和７年第１回北本市議会定例会
市長提出議案 26 件、請願１件、議員提出議案３件、委員会提出議案３件
２月 20 日から３月 25 日までの 34 日間の定例会で審議しました
令和７年度の歳入歳出予算の総額は 281 億 2,520 万 7,000 円
過去最大の予算規模
みんなが暮らしやすいまち
10 代未満　#10 代　#20 代　#30 代　#40 代　#50 代　#60 代　#70 代　#80 代　#90 代　#100 代
つまり全市民に届けたい

特集 ターゲットは、全市民。
令和7年度予算

令和７年度予算を原案可決

今回の特集では、総括質疑（会派の代表の質疑）をピックアップしてご紹介します

子供公園ドームテント整備等事業（１億1,462万円）

ドームテント完成イメージ

ギカイの視点　**Q** 財源と工事期間は

A 老朽化した児童館を取り壊し、多用途に柔軟な活用ができ、急な雨や強い日差しを避けられるドームテントを整備します。事業費は１億1,462万円で、児童館の除去費用等を除いた約6,100万円がドームテント新設に係る費用となります。財源は地方債が１億310万円、ふるさと応援基金からの充当が1,150万円、一般財源が２万円です。工事期間は令和７年６月中旬から令和８年２月中旬までを予定しています。

市民活動交流センター運営管理事業（7,155万4,000円）
高齢者ラウンジ運営管理事業（894万6,000円）

栄市民活動交流センター（６月１日オープン）

ギカイの視点　**Q** 交流センターの開所により、利便性向上や財政的軽減は図られているか

A 交流センターに利活用した旧栄小学校は、エレベーターの設置などバリアフリーに対応している校舎のため、利用者の利便性が高まったと考えています。
交流センターと高齢者ラウンジの運営費の合計は勤労福祉センター等の再編する施設を維持した場合の経費に比べ、1,394万6,000円の負担軽減効果があると試算しています。

北本駅西口駅前シェルター改修事業、北本駅東口駅前シェルター整備事業（１億5,120万円）（３億1,800万円）

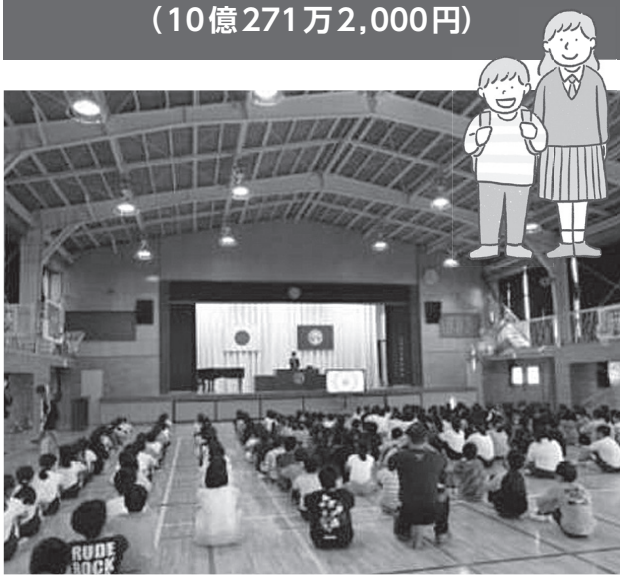
東口駅前シェルター完成イメージ

ギカイの視点　**Q** 改修理由と整備の内容は

A 西口駅前シェルターは、経年劣化により剥離した天井と照度が低下した照明灯を改修します。東口駅前シェルターは、メイン、エレベーター部、障がい者用の３つのシェルターを整備します。検討委員会で意見を出し合い、メインシェルターは雲をモチーフとした曲線の形状としています。

もっと、住み続けたくなるまちへ。

小・中学校体育館空調設備設置事業
（10億271万2,000円）



ギカイの視点 **Q** 事業の進捗状況と効果は

A 令和７年度末までを事業期間とする地方債を活用するため工期を短縮できる設計施工一括方式に変更し、実施事業者の募集・選定を進めています。令和７年度末までに、全小・中学校の体育館に空調設備を設置する予定です。
効果としては、酷暑の中でも体育館での授業、部活動、集会活動などが実施できること、災害時の避難所の環境改善が図れることなどが挙げられます。

県内初！ リンクワーカー配置事業
（354万円）

ギカイの視点 **Q** リンクワーカーの役割と効果は

A リンクワーカーは、地域の様々な会合や居場所、市内の関係機関等を訪問し、把握した個別ニーズを必要な支援につなげます。また、地域での様々な活動を支援し、活動の活性化のために必要な情報発信を行うとともに、属性を問わない居場所を新たに創設または既存の居場所を拡充します。一人でも多くの人が必要な支援につながり、地域のセーフティネットワークの強化が図れると考えています。

Pick up!

令和７年度の小・中学校に通う児童生徒の給食費を無償化
小・中学校給食費負担軽減事業（２億4,893万1,000円）

対象児童生徒数　小学校：2,667人
中学校：1,475人

当初、小学校については、第２子以降に限定した給食費無償化の予算案が提出されていましたが、一部の議員から全員を対象とすべきとする予算修正案の提出が検討されていました。その後市長から、最新の国の動向等を踏まえ、ふるさと応援基金を活用できる目途がたったとの理由で令和７年度補正予算案が追加で提出され、議会として賛成全員で可決しました。

一般会計予算について

賛成

彩桜きたもと

高橋（たかはし）　誠（まこと）

予算編成の基本方針として、災害に強いまちづくりの推進、魅力あるまちづくりの推進、持続可能なまちづくりの推進を掲げ、新規事業等が予算計上されています。自主財源において、大規模法人の操業による市税の増加、ふるさと納税の好調、普通財産の売却が見込まれ、歳入歳出予算の計画は適切な運用です。南部地域整備基金への積立てがないこと、また、北本駅東口駅前シェルター整備事業は市民が使いやすく維持管理費用を考えて事業を進めていただきたいことを指摘し、賛成討論とします。

賛成

緑風会

今関公美（いませきまさみ）

市債は94・6％の増となりますが、主な要因は全小・中学校体育館へ空調設備を設置することによるものです。災害の未然防止として道路冠水解消調査費、災害発生対応として備蓄品購入費などが計上されました。民生費ではリンクワーカーの配置や民生委員・児童委員の委員手当の増額、障がい児福祉業務経費の通所給付費の増など大幅増となりました。支援が必要な人が支援につながらず孤立してしまうことがないよう、安心安全な地域づくりのため予算を有効的に活用することを求め、賛成とします。

賛成

公明党

斉藤（さいとう）　章（あきら）

市税やふるさと納税など自主財源が増額となり、財政運営面で評価するものです。小・中学校の給食費完全無償化について、国の動向も注視し、財政の確保に努めていただきたいと思います。小・中学校体育館への空調設備の設置は大変重要であり高く評価します。公共施設トイレ整備事業、高齢者ラウンジ運営管理事業、リンクワーカー配置事業など新規事業も多く計上されていますが、さんた亭の老朽化した椅子の入替事業は市民から理解が得られる内容で業務を執行していただくことを要望し、賛成討論とします。

反対

日本共産党

湯沢美恵（ゆざわみえ）

市制が始まって以来の大型予算となり、市債の発行は2倍、歳入は楽観的であると心配です。日本共産党議員団として要求してきた男性の子宮頸がんワクチン接種補助や北本駅東口駅前シェルター整備の予算化など一定の評価をしますが、市民要求はたくさんあります。あれもこれもできないと言われますが、高齢化社会を見据え、バス路線の充実や予約が取りやすいデマンド交通の拡大など公共交通の取組は遅れていますし、未来ある子どもたちへの対応や地域のつながりの強化などを求め、反対します。

討論 「議案第９号」令和７年度北本市

賛成

みらい

金森すみ子（かなもり すみこ）

大規模事業が多く今後の市民負担が心配ですが、有利な地方債が活用されています。北本駅東口駅前シェルター整備は修繕を見据えた検討も必要です。ゼロカーボンを目指す本市としては補助金内容の改良、市民の関心を高める予算立ても必要でした。ふるさと納税収入は当てにしてはならない財源ですが、住民の他市への寄附行為は止められないため工夫して減収対策にもなっています。地域共生社会の実現に向けた事業の工夫、行政評価への対応も見られます。住民目線・住民主体の予算執行を期待し、賛成します。

賛成

市民の力

工藤日出夫（くどう ひでお）

新年度予算は２８０億円を超えて標準財政規模の２倍以上の規模になりました。さんた亭の椅子入替、１脚６万４０００円（40脚・２５８万９０００円）に減額修正の動議を提出しましたが、圧倒的な反対多数で否決。住民の納税者意識と生活感覚からみて政治判断の複雑さを思い知らされましたが、予算には義務的経費なども含まれているため、市民の生活なども考慮すると反対するわけにもいきません。

反対

れいわ新選組
北本

毛呂一夫（もろ かずお）

次の３点により反対としました。

①さんた亭の椅子入替に森林環境譲与税を積み立てた基金を活用していますが、１脚６万４０００円40脚を平然と予算計上してくる点が、全く住民目線、納税者目線となっていないことに疑問を呈すること。

②デマンドバス運行事業費予算に、デマンドバスの使い勝手改善・電話予約の取りづらさ改善・運行時間帯の延長対応改善等が盛り込まれていないこと。

③参議院議員通常選挙事業費予算が、ＳＮＳ活用による投票率向上を検討されていないこと。

コラム

討論とは？

討論は、会議において、質疑が終わった後、採決する前に議案に対して賛成か反対かの自分の意見を表明するものです。市議会の討論とは、お互いに議論を交わし合うことではなく、賛否の意見を明らかにすることにより自分の意見に同調することを他の議員に求めることなのです。

討論が終わると、議案等の賛否を決定する採決となるため、討論は意見の異なる議員を自分の意見に同調させるための最終的な機会となります。

なるほど

討論をする議員が２人以上いるときは、最初に反対者、次に賛成者の順に発言させます。（討論交互の原則）

市長は提出した議案に賛成を求めているため、これに対して反対の意見がないか、反対者の意見から聞いていきます

質疑をしました

各委員長報告はこちらからご覧になれます

予算決算常任委員会

令和7年度北本市一般会計予算

総務文教分科会長報告より

Q 小・中学校体育館空調設備設置事業のスケジュールについて

A 現在、実施設計と工事業者の選定を進めており、契約工期は令和8年3月20日まで、実施設計は令和7年8月29日、工事施工は令和8年2月28日までに完了させることとしています。全校一斉施工のため授業への影響を完全に避けることは難しいものの、冬休みの活用などで最小限に抑え、事業者のノウハウを活かしてスケジュールを調整していきます。

空調設備の設置により、子どもたちの酷暑対策、災害時の避難所の環境改善を図ります

健康福祉分科会長報告より

Q 妊婦のための支援給付交付金の内容について

A 出産・子育て応援事業が、法改正により令和7年度から原則現金を給付するものとなり、改正された児童福祉法に規定する妊婦等の包括相談支援事業と組み合わせて、妊婦等への経済的支援、伴走型の相談支援事業を実施します。給付の内容は、妊婦に対して5万円、妊娠しているこどもの人数に応じて5万円を支給し、妊婦に着目した給付のため流産等の場合も支給対象となります。

建設経済分科会長報告より

Q 有害鳥獣防除委託料89万1000円で実施する駅周辺のムクドリ対策の内容について

A 例年、北本駅西口及び東口の樹木の強剪定という形で対応していましたが、ムクドリの対策としては難しい面もあり、情報収集したところフクロウの置物で威嚇するなどの方法が効果があるとのことでした。白岡市でもそのような対策をしているという実績を確認しましたので、令和7年度は時期を見て一度白岡市に出向き、対応方法を確認したいと考えています。

総務文教常任委員会

北本市職員の給与に関する条例及び北本市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部改正

Q1 改正の目的と北本市における影響額について

A1 改正の主な趣旨は、令和6年人事院勧告を踏まえ、若手・中堅職員の早期昇格時や採用時における給与の改善を図ることです。これにより、昇格に伴う給与の上昇幅を大きくし、職員の処遇向上を図ります。今回の給与改正により、給与及び報酬等で1億1794万円の増加となります。

地域手当とは、地域の物価等の差を補てんすることが目的の手当です

Q2 北本市における地域手当の改正状況及び近隣市の状況について

A2 令和6年人事院勧告において、本市の地域手当の支給割合は4％と示されましたが、人材確保や近隣自治体との均衡を考慮し、現行の6％を維持する方針としました。令和7年1月17日時点で所沢市が実施した調査及び本市の独自調査によると、県内で地域手当を6％としている19自治体のうち、11自治体が改正を行わない方針を示しています。近隣市である鴻巣市、加須市、行田市も本市と同様に6％を維持する方針です。

委員会に付託されたそのほかの議案

- 刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理等に関する条例の制定
- 北本市職員の育児休業等に関する条例及び北本市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部改正

Pick up! 各常任委員会でこんな

健康福祉常任委員会

北本市国民健康保険税条例の一部改正

Q 条例改正の理由と税率の改定の影響について

A 令和９年度に予定されている保険税水準の準統一に向け、令和８年度までの財源を確保できるよう将来の推計を行ったところ、現行の税率では令和８年度の予算編成が不可能である見通しのため、税率の改定を行うものです。現年課税分は現行税率では約11億１９００万円のところ、改定後の税率では約12億１２００万円となり、約９３００万円の増収を見込んでいます。今回均等割額の引き上げにより、低所得者への軽減措置に対して補てんされる保険基盤安定繰入金も増収見込みで、現行税率では約2億3300万円のところ、改定後の税率では約2億８２００万円となり、約４９００万円の増収で、現年課税分と合わせて約１億４２００万円の増を見込んでいます。

改定による被保険者への影響は、１人世帯の試算では、最小の上げ幅は低所得に係る軽減が適用となる場合で、年間３７００円、最大の上げ幅は１万２７００円の見込みとなります。複数人世帯の具体例として、家族４人の世帯で、夫と妻が共に40歳代、子が未就学児でない２人の場合、所得が３００万円試算で、改正前の税額が年間50万８４００円から改正後、55万７８００円になり、年額で４万９４００円の増となります。

埼玉県では一部項目以外を統一する「準統一」の目標を令和９年度としています

保険税水準の統一とは？

埼玉県では、「県内のどこに住んでいても、同じ世帯構成、所得であれば同じ保険税となること」を目指しています。
統一により、県内の保険給付の負担を全市町村で支え合うため、さらなる財政の安定化及び加入者間の公正性の確保につながります。

建設経済常任委員会

北本市非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部改正

Q 条例改正の根拠について

A 法律に基づき本市が契約する消防共済基金で退職報償金規定額が改正されたことを受け、本市条例も同様に改正するものです。なお、この改正により新たに勤続35年以上の区分が設けられましたが、本市での該当者はいません。

北本市建築基準法等関係手数料条例の制定

Q 国の法改正により市の窓口申請手続きがどの程度増加するのか

A 省エネ建築物に関する適合判定やそれに伴う確認申請は、現在ほとんどが民間検査機関で手続きされています。法改正により令和７年４月以降は民間検査機関でも以前より審査時間を要することになるため、民間で受けられない分として最大50件程度申請が増加する予測です。

請願事項は９ページに掲載しています

「選択的夫婦別姓制度をただちに導入するための国会審議を求める意見書」の国会提出を求める請願

Q1 家族制度崩壊の懸念は

A1 他国は別姓の家族が多いですが、問題視されていないことから影響はないと考えます。また日本は同姓だから問題が生じないわけでもないと考えています。

Q2 通称使用の法制化について

A2 通称使用者だけ旧姓併記となると、認証などかなり煩雑になるのではないかと思います。

※**A**は請願者の回答

委員会に付託されたそのほかの議案

- 北本市下水道条例の一部改正
- 市道の路線の認定

提出案件の結果一覧（１月臨時会）

	議案名	議決結果	彩桜きたもと							緑風会				公明党			日本共産党		みらい		市民の力	北本れいわ議員団
			永井司	青野康子	高橋誠	諏訪幸男	岡村有正	現王園孝昭	滝瀬光一	小久保博雅	村田裕子	桜井卓	今関公美	斉藤章	保角美代	島野和夫	湯沢美恵	中村洋子	金森すみ子	大嶋達巳	工藤日出夫	毛呂一夫
市長提出議案	「第１号」北本市職員の給与に関する条例及び北本市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部改正について	可決							議長は表決に参加しない													
市長提出議案	「第２号」市長及び副市長の給与等に関する条例及び北本市教育委員会教育長の給与等に関する条例の一部改正について	可決																				
市長提出議案	「第３号」北本市会計年度任用職員の報酬等に関する条例の一部改正について	可決																				
市長提出議案	「第４号」令和６年度北本市一般会計補正予算（第７号）	可決																				
市長提出議案	「第５号」令和６年度北本都市計画事業久保特定土地区画整理事業特別会計補正予算（第２号）	可決																				
市長提出議案	「第６号」令和６年度北本市国民健康保険特別会計補正予算（第２号）	可決																				
市長提出議案	「第７号」令和６年度北本市介護保険特別会計補正予算（第４号）	可決																				
市長提出議案	「第８号」令和６年度北本市公共下水道事業会計補正予算（第１号）	可決																				
議員提出議案	「第１号」北本市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について	可決																				

提出案件の結果一覧（３月定例会）

	議案名	議決結果	彩桜きたもと							緑風会				公明党			日本共産党		みらい		市民の力	北本れいわ議員団
			永井司	青野康子	高橋誠	諏訪幸男	岡村有正	現王園孝昭	滝瀬光一	小久保博雅	村田裕子	桜井卓	今関公美	斉藤章	保角美代	島野和夫	湯沢美恵	中村洋子	金森すみ子	大嶋達巳	工藤日出夫	毛呂一夫
市長提出議案	「第９号」令和７年度北本市一般会計予算	可決							議長は表決に参加しない			×					×	×				×
市長提出議案	「第10号」令和７年度北本市後期高齢者医療特別会計予算	可決																				
市長提出議案	「第11号」令和７年度北本都市計画事業久保特定土地区画整理事業特別会計予算	可決																				
市長提出議案	「第12号」令和７年度北本市国民健康保険特別会計予算	可決															×	×				×
市長提出議案	「第13号」令和７年度北本市介護保険特別会計予算	可決																				
市長提出議案	「第14号」令和７年度埼玉県央広域公平委員会特別会計予算	可決																				
市長提出議案	「第15号」令和７年度北本市公共下水道事業会計予算	可決																				
市長提出議案	「第16号」刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理等に関する条例の制定について	可決																				
市長提出議案	「第17号」北本市職員の給与に関する条例及び北本市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部改正について	可決										×								×	×	
市長提出議案	「第18号」北本市職員の育児休業等に関する条例及び北本市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部改正について	可決																				
市長提出議案	「第19号」北本市非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部改正について	可決																				
市長提出議案	「第20号」北本市国民健康保険税条例の一部改正について	可決															×	×				×
市長提出議案	「第21号」北本市建築基準法等関係手数料条例の制定について	可決																				
市長提出議案	「第22号」北本市下水道条例の一部改正について	可決																				
市長提出議案	「第23号」市道の路線の認定について	可決																				
市長提出議案	「第24号」工事請負契約の変更契約の締結について	可決																				
市長提出議案	「第25号」教育委員会委員の任命について	同意																				
市長提出議案	「第26号」埼玉県央広域公平委員会委員の選任について	同意																				
市長提出議案	「第27号」令和６年度北本市一般会計補正予算（第８号）	可決																				
市長提出議案	「第28号」令和６年度北本市後期高齢者医療特別会計補正予算（第２号）	可決																				
市長提出議案	「第29号」令和６年度北本都市計画事業久保特定土地区画整理事業特別会計補正予算（第３号）	可決																				
市長提出議案	「第30号」令和６年度北本市国民健康保険特別会計補正予算（第３号）	可決																				
市長提出議案	「第31号」令和６年度北本市介護保険特別会計補正予算（第５号）	可決																				
市長提出議案	「第32号」令和７年度北本市一般会計補正予算（第１号）	可決																				
市長提出議案	「第33号」工事請負契約の締結について	可決																				
市長提出議案	「第34号」令和７年度北本市一般会計補正予算（第２号）	可決																				
請願	「第１号」「選択的夫婦別姓制度をただちに導入するための国会審議を求める意見書」の国会提出を求める請願	採択	×	×	×	×	退	×														
委員会提出議案	「第１号」北本市議会政務活動費の交付に関する条例の一部改正について	可決																				
委員会提出議案	「第２号」選択的夫婦別姓制度を速やかに導入するための国会審議を求める意見書	可決	×	×	×	×	退	×														
委員会提出議案	「第３号」障がい者の創業等に対する支援の充実を求める決議	可決																				
議員提出議案	「第２号」北本市議会の個人情報の保護に関する条例の一部改正について	可決																				
議員提出議案	「第３号」刑事訴訟法の再審規定の改正を求める意見書	可決																				
議員提出議案	「第４号」「議案第20号」北本市国民健康保険税条例の一部改正に対する附帯決議	可決																				×

※表の見方　賛成：空欄　反対：×　欠席：欠　除斥：除　退席：退

【紹介】

今定例会において同意されました方を紹介します。

○教育委員会委員
氏名 北條 規 氏

○埼玉県央広域公平委員会委員
氏名 今井 博昭 氏

○北本市選挙管理委員
氏名 加藤 啓一 氏
氏名 沖本 裕司 氏
氏名 細矢 牧子 氏
氏名 福田 京子 氏

○北本市選挙管理委員補充員
氏名 岩渕 正己 氏
氏名 井上 英雄 氏
氏名 桒野 秀雄 氏
氏名 笠原 千代乃 氏

令和７年第１回定例会（３月議会）では請願１件、議員提出議案３件、委員会提出議案３件を審議しました

詳しい内容は市議会ホームページをご覧ください。

請願　議員・委員会提出議案

Pick up! 議請第1号「選択的夫婦別姓制度をただちに導入するための国会審議を求める意見書」の国会提出を求める請願を採択

【請願事項】
「選択的夫婦別姓制度をただちに導入するための国会審議を求める意見書」を国会へ提出すること。

Pick up! 委提第2号「選択的夫婦別姓制度を速やかに導入するための国会審議を求める意見書」を可決

議請第1号の採択を受けて、建設経済常任委員会により請願事項に関する意見書を議案として提出し、可決しました。

Pick up! 委提第3号「障がい者の創業等に対する支援の充実を求める決議」を可決

令和6年第4回定例会の趣旨採択を受けて、建設経済常任委員会により請願事項に関する決議を議案として提出し、可決しました。

Pick up! 議提第4号「議案第20号」北本市国民健康保険税条例の一部改正に対する附帯決議を可決

議案第20号の可決により、被保険者の多い世帯主にとって税の引上げ率が大きくなることから、改定の必要性を被保険者に丁寧に説明するとともに、納税義務者の個別具体的な実情を十分に把握した上で適正な徴税に努めることなどを要望する決議を可決しました。

附帯決議とは？

議会または委員会で議決された議案等に対し、議会として附する意見、要望をあらわす決議（議会の意思決定）のこと。

1月臨時会

1月27日に開かれた臨時会では、市長提出議案8件、議員提出議案1件を慎重に審議しました。

※詳しい内容については市議会ホームページをご覧ください

1月臨時会

1月26日に、中丸公民館で議会報告会を開催しました

＼議会報告会に、ぜひお越しください！／

次回は7月26日（土）に西部公民館で開催予定です！
第2回定例会（6月開催予定）の報告と、意見交換を行います。
※日程等は変更になる場合がありますので、市議会ホームページでご確認ください。

\市政のココが聞きたい！/

一般質問

各議員のQRコードから
録画配信をチェック！

一般質問は、各議員が原稿を作成しています

保角美代（ほずみみよ）
（公明党）

自治会館等への防犯カメラ設置は

Q 室外機の盗難対策として、ジェイコムの取組を利用し設置を検討しては

A ジェイコムでは工事費免除などの代わりに自治会の回覧板等で自社製品の周知を依頼しているそうです。防犯カメラの設置などは第六次北本市総合振興計画において、検討していきます。

火災の際の対応について

Q１ 北本市女性消防団員は被災者の支援などを行えるのでは

A１ 今後の分団長会議等に諮っていきます。

Q２ 被災者支援をマニュアル化しては

A２ 自治会への協力依頼等も含め、集会所の開放による避難場所の確保や市の支援体制等、マニュアルの作成を検討していきます。

公共施設のＬＥＤ化について

Q 蛍光ランプ製造廃止に向けた取組は

A 他自治体等の状況を調査し、計画的に実施していきます。

毛呂一夫（もろかずお）
（れいわ新選組北本）

路線バスの利便性向上について

Q 時刻表で０便となっているところにコミュニティバスを走らせられないか

A 希望時間に自宅前で乗車できるデマンドバスを利用いただければと考えています。

パブリック・コメント手続きの改善を

Q 意見を募集している計画等の資料が膨大で分かりづらく、工夫が必要では

A 資料の概要版の作成や市民説明会、noteの活用などを行っています。

市民参加型予算について

Q 市民参加型予算を実現するための施策、取組はあるか

A 予算の編成状況を公表し、市民から意見をいただく取組を行っています。また、市民と市が協働で地域課題を解決する事業への補助を行う協働事業提案制度と、市民活動団体が実施する公益的な事業への補助を行う公募型補助金の２つの制度を運用し、取り組んでいます。

桜井　卓（さくらいすぐる）
（緑風会）

子どもの居場所の充実について

Q１ 児童館における子どもの声を反映させる取組は

A１ 児童館フェスティバルでは、小学３年生以上の実行委員が主体となり、企画・運営に携わっています。子どもが主体となり企画や運営に参画することは、子ども自らが権利の主体であり社会の一員であることを自覚できる貴重な機会です。日常のイベント等でも多くの子どもたちが企画や運営に参加し、意見を反映できる機会を増やしていきたいと考えています。

Q２ プレーパーク、子ども（地域）食堂、フードパントリー等ではヒト・モノ・カネが不足し持続可能性が課題になっている。市の踏み込んだ支援を

A２ 現在、実施団体は市社協や県社協の助成金等を活用して事業を実施しています。市からの助成については国補助金などの特定財源活用の可否を勘案しながら、引き続き検討します。

\市政のココが聞きたい！/

一般質問

各議員のQRコードから録画配信をチェック！

一般質問は、各議員が原稿を作成しています

今関公美（いませきまさみ）
（緑風会）

民生委員・児童委員の現状と課題

Q 他市町と比較して費用弁償及び欠員状況を伺う

A 県内の活動費の支給平均額は年間８万2,164円で、欠員率は北本市4.6%、鴻巣市4.0%、上尾市5.2%、桶川市8.9%です。欠員の区域は隣の区域の担当委員に兼務をしていただいており、兼務委員に欠員区域の活動費を支給しているのは県内で本市を含む３市となっています。

防災的役割のある公園の設置について

Q 防災的役割のある公園を増やすことについて伺う

A 防災機能の強化は今後の公園整備における重要事項の一つです。新規公園等整備時には、地域の状況や要望を適切に判断し、防災機能を取り入れた公園整備に取り組んでいきます。

その他の質問

〇ごみ出し支援
〇男性４価ＨＰＶワクチン接種補助

中村洋子（なかむらようこ）
（日本共産党）

通学路の安全確保について

Q１ スクールゾーン設置の進捗状況は

A１ 以前から要望があった石戸小学校区通学路については、鴻巣警察署に継続して要望し、早ければ今年の夏頃に設置の見込みという話がありました。市や地域住民代表との具体的な協議を経て整備が始まるとのことです。

Q２ 危険箇所は他にあるのか

A２ 令和６年度の通学路安全点検では52件の報告がありました。内容は、交通量が多い、歩道が狭い、側溝の蓋が欠けている、信号を設置してほしい、私有地の草木が生い茂っている等多岐にわたり、対応できるものはすでに改善を図っています。また、年間を通して市民から通学路の危険箇所の指摘があった場合は、市教育委員会で随時確認し、関係課や関係機関と改善に向けて対応しています。今後も通学路の安全点検を継続し、児童生徒が安全に登下校できるよう努めていきます。

島野和夫（しまのかずお）
（公明党）

下水道管の老朽化対策について

Q１ 北本市の現状と課題は

A１ 本市の汚水管路は全長で約186㎞、内径10㎝から最大80㎝で、昭和56年度の供用開始以降、最も古い管路が44年経過しています。令和５年度よりテレビカメラ調査を行い、緊急的に対策が必要と診断された管渠はありませんが、一部管路内への侵入水が見受けられる箇所があり、令和７年度から順次管路の補修工事を行う予定です。

Q２ 下水道管の調査状況と路面下空洞調査を実施すべきでは

A２ 令和７年２月に、内径80㎝以上の汚水管路及び雨水管路をマンホールからの目視点検及び硫化水素の発生状況の調査を行い、異常はありませんでした。路面下空洞調査は、国や県からの情報を注視し適切に対応します。

その他の質問

〇避難所の環境改善について

\市政のココが聞きたい！/

一般質問

各議員のQRコードから
録画配信をチェック！

一般質問は、各議員が原稿を作成しています

湯沢美恵（ゆざわみえ）
（日本共産党）

帯状疱疹ワクチン接種について

Q 令和7年4月から帯状疱疹ワクチンが定期接種となる。対象者やスケジュール、周知や補助について伺う

A 帯状疱疹は皮膚病変の消失後に痛みを伴う「帯状疱疹神経痛」という合併症があり、ワクチン接種によって発症予防、重症化予防が期待できるとされています。接種する年度内に65歳を迎える人、60歳から64歳でヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能障害があり日常生活がほとんど不可能な人が対象となります。５年間の経過措置として、70歳から100歳まで５歳刻みの人も対象となりますが、過去にワクチンを接種したことがある人は対象外となります。広報きたもと、市ホームページで周知し、対象者には個別通知を予定しています。定期予防接種の対象になるまでの間に接種を希望する場合は、１回4,000円を補助する既存の制度を利用していただきたいと考えています。

高橋　誠（たかはし　まこと）
（彩桜きたもと）

障害者手帳交付者数について

Q 本市における手帳交付状況について

A 令和５年度末現在、身体障害者手帳1,894人、療育手帳500人、精神障害者保健福祉手帳747人、合計で3,141人となっています。

令和５年11月から実施されている埼玉県思いやり駐車場制度について

Q１ 本市における制度の利用状況は

A１ 令和６年10月31日現在で、利用証を車椅子使用者用17枚、その他の高齢者・障害者等用129枚、妊産婦・けが人等用14枚交付しています。

Q２ 障害者手帳交付者数に比べまだ低い状況だが今後の取組について

A２ 制度について記載された案内チラシの掲示、市ホームページ及び「障がい福祉のしおり」等で、制度の周知を図っています。埼玉県においても情報発信や街頭啓発を実施しており、引き続き県と連携し周知、啓発に取り組みます。

金森すみ子（かなもり　こ）
（みらい）

「健康増進センターの高齢者ラウンジへの機能移転」には市民配慮を

Q１ 移転先では規模が縮小し２部屋になるが、内容の充実は必要ではないか

A１ 一部屋目では、健康等の相談と談話のコーナーを設け高齢者同士の交流の場を提供します。二部屋目では、教養講座を引き続き実施し、ｅスポーツ機器を新たに設置します。栄市民活動交流センター全体を活用して健康増進センター機能を補完し、多世代交流しながら高齢者福祉の促進に努めます。

Q２ 規模縮小に対する利用者の支援、通いやすさも必要と考える。対応は

A２ 健康増進センターを利用してきた主な団体の方が、新たに他公民館等を利用する際の予約に不安がある場合は、高齢介護課でも支援を行います。交通手段については、開設後の状況を注視していきたいと考えます。

その他の質問

○子どもの人間関係づくり支援を　他

\市政のココが聞きたい！/

一般質問

各議員のQRコードから
録画配信をチェック！

一般質問は、各議員が原稿を作成しています

青野康子（あおのやすこ）
（彩桜きたもと）

豪雨時の冠水と浸水について

Q1 道路の冠水によって浸水した際の市民への対応は

A1 職員が現場を確認し、冠水によって宅地内に雨水流入を防ぐために、希望者に土のうの配布を行っています。

Q2 止水板、防水板の準備や購入予定、補助金制度の検討は

A2 止水板、防水板の用意はなく、購入及び補助金制度導入については調査、研究していきます。

交通インフラについて

Q 高齢者の外出支援に関する実証実験とは

A 一人での通院や買い物に不安のある高齢者に対し、65歳以上の市民が支援者となり、送迎を含めた通院や買い物などの付き添いサービスを行う取組で市内協力団体と共同で行うものです。

その他の質問

○出会いの場づくりについて
○人口対策について

小久保博雅（こくぼひろまさ）
（緑風会）

新しい教育の取組について

Q 全国で徐々に広がっているチーム担任制、複数担任制あるいは学年担任制について、どのように考えているのか

A 来年度から近隣市に先駆けて試験的に東中学校区の東小学校、東中学校をモデル校として、チーム担任制を段階的に導入し、研究を始めることとしました。チーム担任制のメリットを最大限に生かし、子どもたちのよりよい支援体制を構築していきます。

農業振興施策について

Q 本市独自でベテランの農業従事者と関連団体がタイアップして、遊休農地、空き家の利用などとあわせて、新規就農者の育成ができないか

A 市内在住のベテラン農業従事者が指導者となり、遊休農地を活用して、新たな農業の担い手づくりや市民が農業に関われる仕組みを作るべく研修が予定されています。

諏訪幸男（すわゆきお）
（彩桜きたもと）

桶川市、鴻巣市との合併について

Q 合併による市民サービスの向上は

A 合併の効果として経営中枢部門の強化や保健福祉等の専門職員の配置などによる住民サービスの提供体制の充実、強化された行財政基盤を生かした少子高齢化への対応の拡充、広域的なまちづくりによる地域活性化、適正な職員の配置や公共施設の統廃合など、行財政の効率化が市民サービスの向上につながるものと認識しています。

上尾道路の進捗状況と今後の見通しは

Q 企業誘致を見据えた本市の計画は

A 新たな産業用地創出の具体的な候補地の設定はありません。民間企業から立地相談等を受けていますが、都市計画法や農地法などの立地基準に満たず実現には至っていません。

その他の質問

○北本駅と国道17号間の道路整備について
○ニューシャトルの延伸について

市政のココが聞きたい！ 一般質問

各議員のQRコードから録画配信をチェック！

一般質問は、各議員が原稿を作成しています

斉藤（さいとう）　章（あきら）
（公明党）

ヘルプマーク、ヘルプカードについて

Q イベントでの啓発、周知はできないか

A 福祉まつりなど市のイベント等の機会を捉え啓発チラシの配布を行うなど、周知、啓発に努めていきます。

小学校における教科担任制について

Q 本市の現状について

A これまでも音楽や書写などの技能教科を中心に教科担任制を行っていましたが、数年前から全小学校で、外国語、理科等でも実施しています。その他の教科においても、学校の実態や児童の発達段階に応じて実施している学校もあります。

部活動の地域移行について

Q 今後の計画、方向性は

A 令和10年度の夏を目標に、休日の学校部活動を廃止し地域クラブ活動へ移行を目指します。この目標に向け、本市の地域移行の方向性を確認し体制を整備していきます。

村田裕子（むらたひろこ）
（緑風会）

高機能コンテナ設置で災害対策を

Q 循環型水浄化装置や太陽光発電システム搭載のトイレコンテナ、シャワーコンテナ等、フェーズフリー（平時利用設備がそのまま災害時に利用できる）を推進しコストダウンにつなげては

A 平時の設置場所や利用方法等について先進自治体等の事例を調査します。

学校の複合施設化を

Q 奈良県天理市は各小学校に監視カメラや電子キー等を設置し安全対策を講じ、小学校に公民館機能を集約し複合施設化しているが、見解は

A 令和８年度に総合管理計画を見直す際、栄市民活動交流センターの評価や天理市等の先行事例を参考にします。

個別避難計画の早期策定を

Q 個別避難計画策定をケアマネ等に有償委託しては

A これまで実施してきた方法との整合性を保つ必要があることから慎重な検討が求められると考えています。

工藤日出夫（くどうひでお）
（市民の力）

久保土地区画整理事業について

Q 区域除外に伴う事業計画変更後の方向性は

A 事業期間を現在の計画から20年間伸ばし、事業費については現在の計画から13億8,400万円増額し124億1,200万円となります。そのうち市負担分は72億646万7,000円です。

デーノタメ遺跡について

Q 遺跡の保存について。埋蔵文化財は「埋蔵」したまま保存するのが原則で、史跡公園による観光経済で活性化は現実的に難しい。過度な期待を慎み、将来の維持管理費を考慮し慎重に対応するべきでは

A 令和７年度は用地の測量を行い、その後順次用地取得を行っていきます。資金計画として、補助率５分の４の国庫補助を予定しています。史跡公園として整備し南部地域のまちづくりの重要な拠点の１つとして活用されることは、市民の誇りになると考えています。

\市政のココが聞きたい！/

一般質問

各議員のQRコードから録画配信をチェック！

一般質問は、各議員が原稿を作成しています

大嶋達巳（おおしまたつみ）
（みらい）

公園・緑地等について

Q1 公園におけるバリアフリー化の状況は

A1 市内公園のバリアフリー化については、101公園のうち60公園のバリアフリー化が完了しています。残り41公園については、リニューアル時や利用状況等を考慮し、順次バリアフリー化に取り組んでいるところです。

Q2 緑１丁目公園の出入口は高低差が60㎝以上あるので、早期の改善が必要かと思うが、見解は

A2 現状では出入口が１か所のみで、階段状になっていることから、車椅子やベビーカー等での利用が困難なことや高齢者や小さなお子さんが階段でつまずいて転倒するおそれがあるため、出入口を改修する必要があると考えます。改修については、現地を詳細に調査し、具体的なバリアフリー化への対応策を考えます。

永井　司（ながい　つかさ）
（彩桜きたもと）

本市の公共下水道事業について

Q 管渠の維持管理の現状は

A 令和７年１月28日に八潮市内で発生した道路陥没事故でも報道されたとおり、公共下水道施設は一旦事故が起きると市民生活に大きな影響を及ぼすことから、これまでも市民の快適な生活環境を維持するため、維持管理業務を計画的に進めてきましたが、この事故をきっかけに維持管理の重要性を再認識したところです。本市では、以前から管渠機能を維持するため、老朽化したマンホール蓋の交換、管渠内にたまった汚泥の清掃、下水道用地の除草、水路内にある土砂の清掃など適切に維持管理を行っています。また、管渠の点検ではテレビカメラによる調査を行い、圧送管の吐出口がある中丸中継ポンプ場前のマンホールについては、毎年定期点検を行っており、引き続き適切な維持管理に努めていきます。

岡村有正（おかむらありまさ）
（彩桜きたもと）

空き家等の対策について

Q 令和７年度の方向性は

A 引き続き空き家の様々な相談への対応、抑制のための補助制度の活用促進、空き家バンク、住まいのエンディングノートの周知等の空き家対策の推進とともに、「管理不全空家等に認定するための判断基準」を検討し、北本市空家等対策協議会の意見を踏まえたうえで「判断基準」を策定する予定です。

「2027年問題」について

Q1 一般照明用蛍光灯の製造が禁止されるどのように対応するのか

A1 水銀及び水銀化合物の人為的排出から健康や環境を保護し、環境汚染を防止する必要があり、地球温暖感化対策としてもＬＥＤ化を推進します。

Q2 市民生活への影響は

A2 ＬＥＤ照明灯は長期的なコスト削減に寄与しますが、器具交換等に費用がかかるため、計画的なＬＥＤ化の検討を周知する必要があると考えます。

1/16 東小学校のみなさんが議場見学に来ました！

＼聞こえますか～？／

電子採決システムを使って、クイズを出題したよ！

＼やったー♪／

3/26 議会モニターのみなさんと意見交換をしました！

令和６年度議会モニターの５人にお越しいただき、「北本市議会に求めるもの」「北本市議会モニターを経験して感じたこと」をテーマに意見交換を行いました。いただいたご意見は今後の議会運営に活かしていきます。

主な意見をご紹介！

自治会に関する課題に議会としてどう向き合うのか

会議の内容を積極的に公開してほしい

議会から議案を提出する際、趣旨説明を的確にしてほしい

小さな声、議会に関心のない人の声をどのように聞き取るのか

議会の PR を積極的にしてほしい

議会を見てみませんか

次回の定例会は、**6月5日㊍**開会の予定です。

傍聴

議会事務局で傍聴券を受け取るだけで傍聴できます！

録画配信

市議会ホームページ「録画配信」からも見られます！

※通信費は利用者負担となります。

議会広報広聴委員

委員長	大嶋達巳
副委員長	湯沢美恵
委員	斉藤章
〃	永井司
〃	高橋誠
〃	村田裕子

編集後記

毎年２月から始まる第一回定例議会は、新年度からの市政運営にかかわる予算議会です。議会は慎重審議を重ね、一般会計や特別会計などへ多くの質疑や討論が繰り広げられます。今議会は、学校給食費の完全無償化のための補正予算が追加提出され、請願や意見書は賛否がわかれるなど、色々と活発な議会であったと感じました。

しかしながら、市民からは議員や議会は何をしているのか解らないとのお声をいただきますので、知っていただくための情報発信がまだまだ足りていないと思われます。多くの方にお越しいただけるような議会報告会、読んでいただける工夫を重ねながらの議会だよりも含め、さらなる議会改革に力をつくします。（湯）

この印刷物は再生紙を使用しています。
リサイクル適性Ⓐ この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。
UD FONT by MORISAWA